



SANGHOON AHN / NAOKO MATSUMOTO / NAOSUKE WADA

INTERVALS: EXTRACTION

12 JUL - 9 AUG, 2025

VENUE: TEZUKAYAMA GALLERY - VIEWING ROOM, OSAKA
COOPERATION : KOKI ARTS, TOKYO / GALLERY CHOSUN, SEOUL

このたび、TEZUKAYAMA GALLERY VIEWING ROOMにて、アン・サンフン、松本奈央子、和田直祐による三人展「Intervals: Extraction」を開催いたします。本展は、KOKI ARTS（東京）、TEZUKAYAMA GALLERY（大阪）、Gallery Chosun（ソウル）の3つのギャラリーによる合同企画であり、各ギャラリーの拠点都市を巡回する展覧会シリーズです。

昨年末に東京のKOKI ARTSにて第一回目「Intervals: Distance」が開催され、本展はその第二回目として大阪のTEZUKAYAMA GALLERYに巡回いたします。

本シリーズでは、各ギャラリーが所属作家の中から「抽象絵画」を実践するアーティストを選出し、全3回にわたって紹介します。巡回展でありながら、各会場ではギャラリーディレクターがテーマ設定から展示構成に至るまでを手掛け、開催地ごとに異なる展示コンセプトと作品が展開される点に、本企画のユニークさがあります。

第二回目となる大阪展「Intervals: Extraction」では、目の前にある対象や内省的な感覚の中から本質を掘り上げようとする「抽出 (extraction)」の思考プロセスに焦点を当てます。ここで言う「抽出」とは、単に対象から具象性を排した状態を意味するのではなく、視覚的・感覚的・思想的な要素を丁寧に濾過し、選び取り、再編集していく連続的な選択の営みを指します。

出展作家であるアン・サンフン、松本奈央子、和田直祐は、それぞれ異なる技法や関心を持ちながら、「抽出」というキーワードに各々の立場から応答し、絵画という表現形式の枠組みを再考します。三者の異なる絵画表現を横断しながら見ていくことで、選り取られた形や色、構造の背後に潜む、目には見えない思考や時間の層に触れることができるでしょう。

そして、そこに立ち現れるのは、単に削ぎ落とされた形や色といった視覚情報だけではなく、選り取られた痕跡としての集積—感覚、記憶、知覚、身体性、あるいは存在への問いそのものです。

また、本シリーズでは、抽象絵画を「静止した造形物」として捉えるのではなく、常に流動し、変容し続ける”認識”と”感受”の受皿として提示することを試みます。参加アーティストたちが、それぞれの視座から世界を捉え直し、抽出(あるいは削ぎ落とす)ことで、どのような沈黙や距離を作品の中に宿らせているのか。展覧会タイトルにある「Intervals=間(あわい)」は、物と物のあいだの空間を指すものではありません。制作行為とその背後にある思考、あるいは作品と鑑賞者のあいだに生まれる関係性や緊張感といった余白そのものを意味しています。

本展を通して、抽象絵画という実践がいかにして私たちと世界の関係を紡ぎ直し、刷新していくのか—その静かで深い問いかけに触れる場となることを期待しています。

アン・サンフン | Sanghoon Ahn



1975年、韓国(ソウル)生まれ。

2014年にクンストアカデミー・ミュンスター・マイスターシューラーを修了。アン・サンフンの絵画制作における方法論は、彼の絵画に対する姿勢と深く結びついており、それは伝統的な絵画の意味に対する抵抗として表れている。彼は絵画を単なる再現の手段とは捉えておらず、そのため作品には引用や参照の痕跡が排除されているか、あるいは機能しない状態で残されている。作品タイトルですら、イメージとの直接的な関係を断ち、言語的な痕跡としてキャンパスの中に意味づけられないまま留められている。このような態度は、絵画のもう一つの可能性を探る試みである。現代絵画において一般的な傾向が意味を付与する方向にあるのに対し、彼は表象や意味のネットワークを解体することで、絵画そのものが本来備えている潜在的な力を明らかにしようとしている。常に変化し続ける状況の中で、混乱や揺らぎを受け入れつつ、絵画の新たな可能性を模索している。彼にとって不確かさは脅威ではなく、新たな可能性や実験の契機である。未完で不安定な状態に身を置きながら、失敗の可能性を繰り返し引き受けることで、自らの絵画に絶えず問いを投げかけているのである。

これまでの主な展覧歴に「HANDS AND STAINS」(Gallery Chosun / ソウル / 2025)「FRIEZE Seoul 2024」(COEX / ソウル / 2024)、「ART OSAKA - EXPANDED」(名村造船所跡地 / 大阪 / 2024)、「私が生涯愛した顔」(青年芸術庁SAPY / ソウル / 2023)、「HERBARIUM」(スペースロジック / ソウル / 2023)、「Wrinkles in repeated sentences」(Gallery Chosun / ソウル / 2022)など。

松本奈央子 | Naoko Matsumoto



1987年栃木県生まれ、埼玉県在住。多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業(2012年)、文化庁新進芸術家海外研修員1年派遣、ドイツ、ミュンスター芸術大学(2017-2018年)。

近年の制作で松本は、何かを描こうとせず絵を描き進めるなかでモチーフを見つけるを試みている。モチーフは筆致の動きや色面の位置であったり、言葉で指し示すことができる具体的なものであったりする。「Violet」に見られる麻布・白色・花卉の図という組み合わせは、画面上でかたちが生まれ位置していくことへの松本の関心と、相互に先導し合う関係にあり、連作のなかで続けられている。

主な個展に「“Memoria! Fantasia.”」(KOKI ARTS / 2022)、「petal/stair/day」(クンストフェラインシャルシュタット[ドイツ バーデン=ヴュルテンベルク州] / 2021)。主なグループ展に「ドローイング・ショウ」(あをば荘 / 2023)、「しかくのなかのリアリティ あざみ野コンテンポラリーVol.10」(横浜市民ギャラリーあざみ野 / 2019)など。

和田直祐 | Naosuke Wada



1983年兵庫県生まれ。2013年に京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)大学院芸術研究科を修了。

薄く溶いた絵の具を幾層にも塗り重ねる古典絵画の技法「グレージング」を参照し、光と空間をテーマに制作しています。高透明のメディウムを用いてレイヤーを構築し、透過効果による流動性を伴った絵画は、光が当たる場所や時間によって色やかたちが微量に変化し、「見る」という行為への再考を促します。

主な個展に「Whole set of No.2 to 8」(GALLERY 麟 / 2023)、「Pathway」(TEZUKAYAMA GALLERY / 2022)。主なグループ展、アートフェアに「切磋-絵画の証IV」(TEZUKAYAMA GALLERY / 2023)、「Sydney Contemporary 2023」(Carriageworks / 2023)、「間 そうぞうのよはく」(graf porch / 2023)、「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2022」(福岡国際会議場 / 2022)、「ART OSAKA 2022」(大阪市中央公会堂 / 2022)、「can (not) reach」(EUKARYOTE / 2022)、「和田直祐・小川万莉子: full-size room」(GALLERY 麟 / 2021)、「類比の鏡 / The Analogical Mirrors」(山中suplex / 2020)など。



①



②



③



④

- ① Installation View:
"Intervals: Distance" at KOKI ARTS (2024)
- ② Sanghoon Ahn
the first night in Paris (2024)
acrylic, spray and oil on linen
H1622 × W1303 mm
- ③ Naoko Matsumoto
Violet (2024)
oil, chalk and rabbit-skin glue on canvas
H270 × W270 mm
- ④ Naosuke Wada
An ellipsis, somewhat narrow slit (2025)
urethane paint on wooden panel
H1800 × W700 × D40 mm

Information | 展覧会概要

[タイトル]
Intervals: Extraction

[会期]
2025年7月12日(土) - 8月9日(土)

[出展アーティスト]
アン・サンフン | Sanghoon Ahn
松本奈央子 | Naoko Matsumoto
和田直祐 | Naosuke Wada

[協力]
KOKI ARTS, 東京 / Gallery Chosun, 韓国

[会場]
TEZUKAYAMA GALLERY - VIEWING ROOM, 大阪

営業時間: 火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日
OPEN: Tue - Sat 12:00 - 19:00 | CLOSED: Sunday, Monday and Holiday
お問合せ: info@tezukayama-g.com

